



### おもちつき

年末にするお餅つきは鏡餅を作るためと、お雑煮に入れる丸餅を作るための両方の意味があります。

「今年一年が幸せでありますように」と新年の歳神様をお迎えしてお祈りするために鏡餅を作ります。歳神様がお正月の間に落ち着く場所が鏡餅なのだそう。丸餅には神様からの魂が宿り、生命力が与えられると言い伝えられています。昔からおめでたいときにはお餅つきをして、神様からの元気をいただいていたんですね。

今年は、子どもたちと職員でお餅つきをします。杵とうすで「よいしょ～よいしょ～」元気な声が聞こえそうですね。



### 冬至

一年で一番昼が短く、夜が長い日が冬至です。冬至の日にカボチャを食べたり、ゆず湯に入ったりすると、風邪をひきにくくなると言われています。寒くなるこれからの時季、体を温めて風邪に負けない強い体にしましょう。



### お手伝いをさせよう

子どもたちは、お手伝いが大好きです。「ありがとう」「助かったよ」と言う言葉を聞くと、自分が認められたと思うのでしょ。二度手間になるとおもわれるかもしれませんが、その子にできるお手伝いを見つけ、役に立つ喜びをしっかりと味あわせてあげてください。

保育園でも、子どもたちと一緒に年末の大掃除をします。

### コロナ禍における楽しい保育

日中温かい日もありますが、朝夕はすっかり寒くなり、もう冬がそこまで来ています。熱の出る子も始め、コロナ感染症やインフルエンザの流行も心配されます。全国的にもコロナ感染者が増え、重症者も過去最大となっています。日々ニュースでコロナ感染者数を見るたびにその人数の多さに驚き、広島県でも増え始めていることに、コロナがすぐそばまでせまっているかのように感じています。

今年度行事が中止になったり、今までとはやり方を変えて行ってきましたが、これは「くまの・みらい保育園の園児、保護者、職員の中には、コロナ感染者はいない。」という事を前提としてやってまいりました。消毒、マスクの着用、検温は毎日やっていただき、37.5度以上の熱でお迎えに来ていただいたり、お休みをしていただく、1日様子を見ていただくなどのご協力があったおかげで、行事なども無事に終えることができました。コロナ感染者がでますと、園を休園することになります。これまで以上に気を引き締め、コロナ感染対策をしていきたいと思ひます。もし、ご家族の職場で、感染者が出たとか、家族が濃厚接触者になったとかの情報は、園の方へご連絡をお願いします。

コロナ禍でのみらいフェスタは3部に分けての開催となりましたが、おうちの方と一緒に楽しい時間を過ごされたようでした。食べ物はありませんでしたし、2時間という制限はありましたが、みらい動物園や乳児親子のあそぼうコーナーですと遊び続けるお子さん、一緒に遊んでくださる保護者の方、職員も保護者としてしっかりお話しができ、有意義な時間になりました。「こんな風にして遊んでいるから、作ることが大好きなんですね」「自分で考えて工夫して、子どもたちはあそびながら学んでいるんですね。」「子どもの発想力はすごいです。この園に入れてよかったです。」など、嬉しい感想をたくさん聞かせていただきました。親子で楽しいみらいフェスタになったのではないのでしょうか。いつも廃材をたくさん持って来ていただき、ありがとうございます。廃材は子どもたちにとっては宝物です。乳児クラスでもちぎったり丸めたり、触ったり積んだり、ひも通しなどでよく遊びます。廃材は作りながら失敗しても、何度でもやり直しができます。手軽に切ったり貼ったりできるので、あそびには最適で、既成のおもちゃでは味わえないものがあります。子どもたちは廃材を使って制作をする中で、その性質を利

用し作りたいものを考えます。セロテープの使い方、ガムテープの切り方、のりやボンドの使い方、「何でくっつけるといいのかな?」とつける物を考え、道具の使い方もうまくなってゆきます。今では「これが作りたい!」と自分で考え、作ったものは大切に家に持って帰るようになってきました。何度も失敗したり試して作ること、繰り返し遊ぶことで、乳幼児期に育みたい、「感じる・気づく力」「動く力」「考える力」「やりぬく力」「人とかかわる力」が育っているのです。

豊かな成長が育まれる『楽しい保育』に向けて、今後も廃材で遊びますのでご協力をお願いします。

さて、11月に入り姉妹園のバスが来るのを見ていた子どもたちが、バスに乗りたくて仕方ありません。「幼稚園バスに乗りたい!」というので、バス遠足を計画しました。年少、年中さんは深原公園、年長さんはトモビオパークに行きました。バスに乗るだけでも大喜び。知っているお店の名前を言い合い、警察署や消防署なども見えては大興奮でした。公園でも秋の自然に触れ、走り回ったり、固定遊具で遊んだり…なんといつもお母さんのお弁当を楽しみにしていた子どもたち、嬉しそうにほおぼっていました。中でも年長さんが行ったトモビオパークで、竹のアスレチックに挑戦して遊ぶ姿には感心させられました。竹と竹の間にネットが張ってあり、「なんだかこわ〜い」と言っている友だちに「大丈夫! 勇気をだしてやってみんさい!」と、友だち同士励まし合い、高い竹にも登っているのです。「やってみたらおもしろかった。もう1回やってみよう!!」「忍者の修行みたい。」「たのしいね。」と、様々なことに挑戦する子どもたちのたくましさや励まし合う子ども同士のかかわりを見ることができました。たくさん手作り遊具の中で、自分のやりたいことを選んで、とことん遊ぶ子どもたち、小さい頃から様々な経験を積み重ねていることが、小学校へ行ってもいろいろなことに前向きに挑戦する、主体的な子どもへ繋がります。だから、乳幼児期のあそびが大切なのです。「人生で一番成長が著しい子どもたちにとっての今は、今しかない」という思いで、今後もコロナの感染対策をしながら『楽しい保育』に向けて取り組んでいきます。ご協力よろしくお祈いします。

くまの・みらい保育園 園長

### あそびは続くよどこまでも

<年長・トモビオパークより>  
様々なことにチャレンジし、  
いろいろな力が育っています!

#### 虫探し



なんのむしがいるかな?

#### 考える力

こわいけどおもしろい!

#### 動く力



#### 竹のアスレチック

勇気を出して! やればできるよ!

#### 人とかかわる力



たかいところまでのぼろう!

ぼくもはだしのぼったよ!



#### やりぬく力 木登り

せんせいまって〜! ついていくよ!



#### ツリーハウス

みんながんばろう!

#### つなわたり



#### 気づく・感じる力



た〜のし〜い!

#### ハンモック

きもちい〜い!

#### 竹のフランク

